

ヒルフェ通信(2月号)

❀ そっと寄り添いやさしくサポート ❀

「公益社団法人成年後見支援センターヒルフェ」は高齢者、精神障がい者、知的障がい者等の権利の擁護及び福祉の増進に寄与することを目的として、東京都行政書士会が設立した法人です。



◆令和5年新年賀詞交歓会のご報告

令和5年1月10日(火)、京王プラザホテル「コンコードボールルーム」におきまして、東京都行政書士会・東京行政書士政治連盟・東京行政書士協同組合・公益社団法人成年後見支援センターヒルフェ共催の令和5年新年賀詞交歓会が開催されました。

賀詞交歓会はコロナ禍の影響で2年間開けませんでしたでしたが、今回は招待者の人数を減らす、食事には飛沫除けパネルを設置する等十分な感染防止策を講じて開催する運びとなりました。

開会の辞、主催者挨拶の後、来賓の皆様にご挨拶を頂戴しました。初めにご挨拶をいただいた小池百合子東京都知事にはヒルフェの活動について触れていただきました。ヒルフェが大島でセミナー・無料相談会を実施したことを踏まえていらっしゃると思います。また、島しょ部だけではなく、多摩地域への利用促進等も視野にいれてお話しされていたことと考えております。

また、国会議員のなかにも辻清人衆議院議員のように真っ先に成年後見支援についての期待を話される方もおり、行政書士あるいはヒルフェの成年後見支援活動についての関心の高さが伺われました。

当日はヒルフェがお招きしたご来賓に多数お越しいただき、大変ありがたく思いました。皆様、とても良い会だったと言われ、ヒルフェ会員の心ある接待に感謝しておられたとのこと。鏡開きは山崎節子理事長とともに、一般社団法人日本成年後見法学会の高橋弘常任理事にお願いいたしました。

令和5年もヒルフェは高齢者、精神障がい者、知的障がい者等の方々が、安心して幸福生活を送っていただけるよう尽力してまいります。今年もよろしく願いいたします。(専務理事 東村次郎)



◆特別研修開催報告

令和4年12月21日(水)14:00～ 渋谷フォーラムエイト8階のクイーンズスクエアにおいて特別研修が開催されました。

今回の東京家庭裁判所主任書記官の方を講師としてお迎えしての「ヒルフェ会員向け更新研修」は、令和2年から計画されていましたが、コロナの感染拡大が継続していたこともあり今回まで延期されてきた経緯があります。



当日の研修は、冒頭、当社団の山崎節子理事長のご挨拶に続き、東京都行政書士会の宮本重則会長にもお越しいただき、来賓としてご挨拶をいただきました。

第一部の講義は、「東京家庭裁判所における成年後見実務について」という内容で、東京家庭裁判所、家事第1部2係(後見センター)、主任書記官、澤村達宏様から裁判所における実務・留意点について具体的・詳細なご説明をいただきました。講義終了時には質問も出るなど大変有意義な時間となりました。

第二部の講義は、大変残念ながら動画での講義となってしまいましたが、「第二期成年後見制度利用促進基本計画の策定について」という内容で、厚生労働省社会・援護局地域福祉課、成年後見制度利用促進室、室長、松崎俊久様から主に第二期成年後見制度利用促進基本計画の概要についてご説明をいただきました。

これを機会に、今後とも家庭裁判所等との関係を一層密にし、再度研修が開催できるよう計画してまいります。(常任理事 松崎敏光)